

翔陽

帯広市立翔陽中学校 学校便り 第 8 号
令和4・11・30発行
校長 海鋒 達也

《学校教育目標》
豊かな心で たくましく 意欲をもって 希望を叶えよ

将来を見つめる旬 自分探しの旅へ

1. 進路説明会・三者面談（「自己実現」を目指す）

いよいよ進路決定の時期が目前に迫りました。11月4日、3年生保護者を対象に進路説明会を開催し、17日から三者面談を行いました。学校と家庭でしっかりと見通しや情報を共有しながら進めていけるよう、次のことをお願いしています。



< 家庭にお願いしたいこと >

- ・家族で十分に話し合い、本人の自覚が一層高まるよう導いてください。
- ・子どもたちは人生で最初の大きな選択に迷いますが、家族の励ましは大きな力になります。温かい助言と支援をお願いします。

2. 教育相談（学習と生活を振り返る）

10月に前期通知表を配付しました。その後、いじめ調査アンケートを実施し、21日から1・2年生を対象に教育相談を行いました。一人一人が今までの学習や生活を振り返り、自分を見つめる機会となるよう、以下のような観点でお話しています。



< 学習について >

- ・現時点での自分を知り、どれだけ自分が成長したか、これからすべきことは何かを探る機会としてほしい。

< 生活について >

- ・人との関わり方や距離感とは人と関わって学ぶもの。人との関わり方や将来の自分の姿など、いまの自分と向き合い、これからすべきことは何か、将来どんな生き方をしたいか、考えを深める機会としてほしい。

話すことで自分の考えが整理され、自分が決めることで行動に覚悟が生まれます。主体的な考えと行動を支援して、背中を押していきます。



今月号は、地域の人々との交流を通して、子どもたちが学んでいる様子を紹介し、地域の宝である子どもたちを身内のように大切にしてくださる地域の皆様に改めて感謝します。また、関係機関等と連携した取組についても紹介します。

職場体験学習 3年ぶりの実施

10月13・14日、2年生は進路学習の一環で「職場体験学習」を行いました。実施は3年ぶりで、生徒は本校近隣の36事業所に分かれて実習を行いました。各職場では職員の皆様にあたたかく受け入れてもらい、働くことの大変さや面白さ、やりがいなど、貴重な体験を通して教えていただきました。子どもたちの



感想には、感謝や働くことへの意欲が多く語られており、改めて働く意義や職業観について考えを深めることができた2日間だったようです。

おびひろ市民学他 地域の方から学ぶ

1. 手話教室・家庭科和服教室（1年）



<11/8 手話講座>

<11/9-10 家庭科和服教室>

2. SDGs学習・マナー講座・防犯教室（2年）



<9/1 SDGs学習>

<10/4 マナー講座>

<11/1 防犯教室>

3. 財政教室・租税教室・選挙教室（3年）



<10/18 財政教室>

<10/20 租税教室>

<11/15 選挙教室>

4. はばたき学習クラブ（塾講師版）



<11/2数・8英・21数・29英・12/8理 三年生徒向け> <11/25 全校大人向け>

地域の方や保護者が講師となって、専門的なお話や体験活動をさせていただきました。子どもたちは、将来のこと、社会のこと、郷土のことについて学習を深めました。

6名の柏葉高校生が インターンシップ



<佐藤由羽さん>
今回の体験を通して、授業する立場として大変さや楽しさなどを学びました。本当にありがとうございました。



<高橋杏珠さん>
今回参加させていただいてとても勉強になりました。話しかけてもらえて嬉しかったです。



<中尾花鈴さん>
普段できない経験をさせていただきありがとうございました。楽しかったです！



<長田蒼子さん>
2日間本当に多くのことを学ばせていただきました。この経験をいかして将来に向けて頑張ります。



<篠原夢佳さん>
2日間お世話になりました。生徒の皆さん、これからも勉強や部活に頑張ってください。



<沼田莉乃愛さん>
みんなの優しさにたくさん助けられました。貴重な体験をありがとうございました。

柏葉高校より、本校卒業生を含む1年生6名が、本校で2日間インターンシップを行いました。高校生は授業や学活、部活動等の指導体験を行い、本校生徒との交流を通して、「教員になりたいという思いが強くなった」と目を輝かせていました。また、本校生徒にとっても「年の近い先生」から、進路や将来像についての刺激を受けていたようです。

落ち葉・ゴミ拾い ボランティアに感謝



10月中旬からの冷え込みで落葉が進み、急ぎ足で季節が冬に近づきました。10月28日・31日・11月1日、生徒ボランティア（3日間合計141名）による落ち葉の片付けを行いました。また、29日はPTA事業部と三役（合計25名）でも実施しました。生徒が作業している姿を見て、地域の方がお手伝いにかけてくれたり、お褒めの言葉をかけてくれたりしました。

その後もグリーン倶楽部と有志ボランティア（15名）による片付けにより、冬支度が進みました。集めた落ち葉の一部は中庭のコンポストで堆肥にして来年活用します。ご協力いただいた多くの皆様、本当にありがとうございました。



【生徒会の伝統を後輩へ】



生徒会役員（後期）<左から>

新妻麻耶(会長)、伊藤 葵(副会長)、山川真緒(副会長)、川内結笑(事務局長)、中島嘉宣(事務局次長)、関下芽依(会計)

生徒会役員と美化委員がボランティア活動を中心となって企画・運営を行いました。翔陽中には先輩から引き継いできた大切な伝統や素晴らしい行事が沢山あります。その伝統を引き継ぎ、さらに新しいことにも挑戦して、翔陽中をさらに発展させてほしいと思います。

よりよい授業を目指して

【物事を多角的に捉え、学びを深めることができる生徒に】

本校研究テーマ（上記）のもと、計画的に校内研修を行い、各教科



の見方・考え方を働かせた論理的な対話を大切に授業づくりを進めています。10月25日は市教委と十勝教育局の指導主事を招いて、全教員の授業を参観した後、研究協



議を行いました。各種テスト結果による個々の達成状況や、外部からの助言、学校評価・学習アンケートの結果を活用しながら、より良い授業を目指し、改善を重ねていきます。

小中連携による 9年間を見据えた学びへ



【翔陽中・柏小・帯小・光南小・東小の取組】

子どもたちにとって、義務教育9年間は自立のための大切な学びの時間です。7月22日、翔陽中学校区の職員30

名が一同に会し、学習・生活等の視点で話し合いました。小・中のなめらかな接続や、9年間を見据えた教育について取組を進めています。その取組の一部を紹介します。

(1) 中学校教員による出前授業「キャリアアップ学習」

7月から順次各小学校で実施し、中学校の学習、生活、部活、進路などをスライドや動画、作品や演奏などを交えて紹介しています。中学校生活の見通し、心構え、今から準備しておくこと等を考える学習を1～2学期に実施し、3学期は、入学説明会と2回目の出前授業を行う予定です。



(2) 職場体験学習による児童生徒の交流



本校2年生が各小学校で実習しました。児童生徒の交流を通して、中学生は先輩（先生）としての振る舞い、児童は将来の自分の姿を考える機会となりました。

(3) 教職員の連携会議・研修会

小中連携会議をはじめ、特別支援担当による打合せや説明会・見学会の実施、各校の実践発表会への参加、生活や学習の情報共有と対応など、随時行っています。

(4) その他

今年度、吹奏楽部の練習会場に柏小体育館を借用し、感染症への対策と効果的な練習を実現することができました。（翔陽中央史上初の全道出場につながりました）また、小学生が練習風景を見学し、部活に励む中学生の姿に刺激を受け、中学校進学への意欲づけの一助にもなったようです。

12月の予定

- 1日(木) いじめ撲滅集会
 - 3日(土) 全道新人大会十勝予選(バドミントン) 選抜優勝大会(ル-)
 - 5日(月) 授業参観・懇談会(2年)
 - 6日(火) 授業参観・懇談会(1年)
 - 7日(水) 授業参観・懇談会(3年)
 - 9日(金) おび学「親子防災教室」(1年)
 - 12日(月) 生徒会各委員会
 - 13日(火) おび学「SDGs講座」(2年)
 - 15日(木) 学年末テスト(3年) おび学「食育」(1年)
 - 16日(金) 学年末テスト(3年)
 - 21日(水) 給食費現金納入日
 - 22日(木) 校内清掃
 - 23日(金) 2学期終業式
 - 24日(土) 冬季休業日～1月12日(木)
 - 26日(月) はばたき学習クラブ～28日
 - 29日(木) 学校閉庁日～1月3日
- ※ 感染状況により、変更もあります。

各種大会より

10/18から
11/25まで

□ 全十勝秋季卓球大会

- <男子> 団体：準優勝 (全道大会へ)
曾我生織 Best4/川端 丈 Best8/佐藤絆生 Best8
川原凌大 Best8/福田優希 Best16/三品真輝 Best16
及川隼人 Best16
- <女子> 団体：第3位 (全道大会へ)
石賀ゆき奈 準優勝

□ 卓球ニッタク杯全十勝選手権大会

- <男子> 曾我生織 第5位/川端 丈 Best16/佐藤絆生 Best16
川原凌大 Best16/福田優希 Best16
- <女子> 石賀ゆき奈 **優勝**

□ 秋季陸上競技記録会第2戦

- <男子> 300m 片石 蓮 第6位/窪田 仁 第8位
1000m 山下光晴 第8位
走高跳 宮本庸平 第5位
走幅跳 小関 陽 第5位/神内彪政 第8位
砲丸投 浅野壘仁 第5位
- <女子> 300m 田口心音 第6位
走幅跳 藪内芽生 第7位

□ 全道1年生王座ソフトテニス大会予選

- <女子> 長澤実樹・伊藤瑚夏 Best8

□ 全十勝シングルスソフトテニス大会

- <女子> 三谷桃花 Cカウチ 惜 敗/太田慧子 Fカウチ 惜 敗

□ 全十勝インドアソフトテニス大会

- <女子> 太田慧子・三谷桃花 Best8

□ 全道U-15フットサル選手権大会道東ブロック予選

- ・翔陽中 Dグループ 第1位/決勝トーナメント 第10位

□ 帯広市中学校

英語スピーチ・暗唱コンテスト

- <暗 唱> 佐藤心杏 出場
<スピーチ> 太田凪音 優秀賞



<佐藤さん>

<太田さん>

□ 夏休み児童・生徒書道展

- <中1>三宅菜々香 入選
<中2>川端 丈 特選
<中3>柴崎結子 奨励賞



<堀口さん>

□ 帯広市中学生からのメッセージ

- <翔陽中代表> 堀口亜仁衣「価値観の違い」 優良賞

□ 伊藤園お〜いお茶新俳句大大賞

- ・森池利菜「ほめられる 兄に負けじと 除雪する」 佳作特別賞

ホームページも ご覧ください

大会結果や行事の様子、ご案内等は、随時、翔陽中学校ホームページにも掲載しています。是非、ご覧ください。 →



※ 大会結果については、部活動や各種コンクールで、学校に届く結果から入賞者を紹介しています。上記以外で活躍したのものについても、子どもを通して教頭に報告いただければ、学校だよりで紹介したいと思っておりますので、お知らせください。

令和4年度 第1回「学校満足度アンケート」より

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

注) 満足度について、「A：十分である（とても満足している）」と「B：まあまあである（やや満足している）」を合わせ、“満足度が高い”という捉え方をしています。

生徒の満足度が高い項目

- ・登下校時の歩行や自転車の乗り方について、ルールやマナーを守っている。(生徒:96.5%)
- ・仲間を尊重し、支え、思いやりの気持ちをもって接している。(生徒:93.2%)



保護者の満足度が高い項目

- ・学校行事や委員会活動、係活動において、自ら進んで取り組んでいる。(保護者:79.5%)
- ・「たより」(学校便り、学年・学級通信、保健便り等)や、HP・メール等を利用して、情報発信を適切に行い内容も適切である。(保護者:79.2%)

☆体育祭や文化祭は、3年ぶりに全校での開催となり、たくさんの保護者に生徒の頑張る姿を参観いただき、感謝しております。日常の学級活動や生徒会活動等も含め、生徒が主体的に活動するような指導・支援を今後も継続し、それらの充実を目指してまいります。

☆各種の「たより」や学校HP・安全メール等での情報発信は、家庭との連携に不可欠な手段の1つと認識しております。今後も必要に応じてわかりやすく端的な連絡はもちろん、学校の教育活動の様子が見える情報発信に努めてまいります。

☆学校という集団生活の中で、生徒が学ぶべきこととして「規範意識」や「人との関わり」があげられます。ルールを守ることの意義や、周りの人との関わり方について継続した指導に努め、互いを尊重し、自律できる生徒の育成を目指してまいります。

今後の課題とする項目

- ・火災、地震、薬物、ネットトラブルなどの危機管理指導に力を入れている。(保護者:52.2%)
- ・翔陽中は、いじめの防止やいじめの早期発見に向けた取組を行っている。(保護者:54.6%)
- ・放課後や長期休業中の学習支援など、機会があれば参加し、努力したいと思う。(生徒:30.4%)



★危機管理指導につきましては、定期的な避難訓練やSNSの使い方に関する指導、警察署と連携した防犯教室の実施など、継続した指導を進めております。今後、さらに薬物防止等に関わる指導も関係機関と連携しながら進めてまいります。なお、ネットトラブル防止のためには、家庭でのルールづくりやフィルタリングなど、子どもを守る取組を家庭でもぜひお願いします。

★本校では、生徒会が主体となって、いじめ撲滅集会やエリアサミット等の取組において、いじめ・非行防止のスローガンや標語作りなどを行い、「いじめはどんな理由があっても許されない」ことをすべての生徒が認識できるよう指導を進めています。今後も日常から教育相談等の充実に努め、生徒の個性や思いに寄り添ったきめ細かな指導・支援を進め、家庭との信頼関係を基底とした「安心して通うことのできる学校づくり」を進めてまいります。

★長期休業中の学習支援「はばたき学習クラブ」では、参加した生徒からは、「参加してよかった」「集中して取り組めた」等の感想が寄せられています。限られた機会ではありますが、参加する生徒を増やしていけるよう、魅力ある学習支援を工夫し、推進してまいります。